

久山中便り

久山中学校
令和8年9月14日発行
第45号

先端技術講話

二年生

14日(月)、二年生が「先端技術講話」に臨みました。

この取組は、福岡県が実施している「中学生先端技術人材育成事業」で、本校が実施校として選ばれたものです。

中学生が、先端技術にかかわる方と触れ合うことを通して、先端技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深めることをねらいとしています。

今回は、**三菱電機株式会社パワーデバイス製作所 応用技術総括の山田順治様**に來校いただき、「パワー半導体」を中心にお話しいただきました。(半導体製作の最先端に携わっていらつしやる技術者です。)

「**パワー半導体**」とは、大きな電気エネルギーの流れを制御(交流を直流にするなど)したり、形を変えたり(電気の流れを一秒間に何万回も切り替えるなど)する特別な部品のことです。これにより、電気が無駄遣いの

削減、二酸化炭素を減らすことにつながるなど、現在、注目されている技術です。

講師の先生は、私たちに、できるだけわかりやすく伝えるために、班での話し合いなどを入れていただき、あつという間の2時間でした。

演習問題としては、「ダイエットしたくないけど、運動もしたくないときはどうしたらよいか」や「動物の思いを知るにはどうしたらよいか」というテーマが与えられ、それらを問題解決する際に必要な半導体の種類を交えて回答するといったものです。

講師の先生からは、「柔軟なアイデアが出るのが中学生であること」「グループで問題解決することが重要であること」などを教えていただきました。

私たちの身の回りの電化製品には、たくさん半導体が使われています。それらをうまく使用する際の問題を解決するアイデアが大切であることの意義を学びました。ありがとうございました。



プラチナ未来人材育成塾報告

夏休み中に、この

育成塾に、本校から一年生1名、二年生3名の計4名が参加し、7日(月)に町長室で報告会を実施しました。

参加者は、4日間で学んだことを整理して町長さんに伝えました。

「環境保全」「節約」「カーボンニュートラル」「ライフサイクル思考」「ジェンダーギャップ」「トレードオフ」など、難しい用語もその意味を理解して使いこなしていました。そして、久山町が将来、幸福度の高いプラチナ社会の実現を目指すことの意義について、自分の言葉で説明していました。

全国の仲間と交流を深め、議論してきたことは、きつと、中学校生活の中でも活かされることだと期待しています。

なお、このプラチナ塾に参加した生徒の皆さんは、文化発表会でも報告します。

さらに、整理して発表してくれることを期待しています。

